

Think of Next

CSR報告書
Vol.3



中国特殊創立50周年

『企業理念』刷新

50年のあゆみ

トピックス

- 7社間包括業務提携
- 脱塩・分離・改質新施設竣工
- がんばる中小企業300社表彰
- 環境人づくり企業大賞奨励賞



中特グループ

中国特殊株式会社は、今年で創業50年。

人々の暮らしと密接な関係にある中特グループは、

時代に合わせて変わる様々な価値観とともに

この50年を歩んできました。

そして、これからの50年。

限りある資源を大切にしながら、

より良い環境を作り育てるために

そこにある多くの笑顔を、次世代へとつなぐために

中特グループはここから、新たな一步を踏み出します。





平成27年9月5日 事業発展計画発表会懇親会ラストの集合写真、
これからの50年もみんなで元気に頑張ってまいります。

目次

プロローグ／目次	1
企業理念	2
50年のあゆみ	3
トップインタビュー	4
トピックス	5
7 社間業務提携	6
下松リサイクル工場新施設完成	7
カーボンオフセット賞その他表彰	8
環境活動	9
新中期環境保全計画、CO2排出量削減他	10
安全衛生・防災活動	11
事故災害ゼロの取り組み他	12
地域社会とのかかわり	13
エコフェス、こどもつちゃ商店街、 まつり清掃ボランティア、他	14
地域清掃ボランティア、終活セミナー、 いきいきサロン、他	15
お客様とのかかわり	16
HAPPY 勉強会、エコテクノ出展、他	17
社員とのかかわり	18
事業発展計画発表会	19
24時間リレーマラソン	20
各種勉強会・研修会	21
社員研修旅行、社員親睦行事	22
採用活動	23
第3者意見	24
アンケート結果	25
エコキャップ運動・編集方針	26
中特グループの組織・プロフィール他	27
	28
	29
	30

中特グループは平成27年度、中国特殊(株)が創立50周年を迎えるに当たり、
「企業理念」を刷新しました。

企業理念

使命

「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」

基本姿勢

1. 私たちは、私たちを取り巻く全ての人々に誠実に接します
2. 私たちは、時代の風向きに敏感に反応し、いかなる時代が来ようとも存続します
3. 私たちは、共に地球に暮らす一員として、社会のために役立つ存在となります

行動指針

1. 明るく元気に
2. 迅速丁寧
3. 目配り気配り思いやり
4. ピンチはチャンスプラス思考

目指すポジションNo.1

- 社員の幸せNo.1
- お客様の満足No.1
- 社会に貢献No.1
- 未来の創造No.1



50年のあゆみ

1966年	2月 7月	徳山清掃株式会社 設立 徳山清掃センター 設立、徳山市一般廃棄物収集運搬業許可 取得
1968年	4月	徳山清掃(株)／下水道管維持管理部 新設
1973年	4月 5月	徳山清掃(株)／産業廃棄物収集運搬業許可 取得 徳山清掃センター／産業廃棄物収集運搬業許可 取得
1974年	5月	徳山清掃センターから「株式会社吉本興業」に社名変更
1975年	9月	徳山清掃(株)／産業廃棄物処分業許可 取得
1978年	12月	徳山清掃株式会社から「中国特殊株式会社」に社名変更
1980年	5月 12月	中国特殊(株)／水質濃度計量証明事業登録 中国特殊(株)／建設業許可取得(管工事、防水工事、一般土木、しゅんせつ工事、とび土工)
1984年	6月	中国特殊(株)／建築物飲料水貯水槽清掃業許可 取得
1988年	1月	中国特殊(株)／天日乾燥中間処理場完成
1989年		有限会社中特工事 設立
1993年	4月	株式会社藤井興業 設立
1996年	12月	(株)吉本興業／産業廃棄物処分業許可 取得 (株)吉本興業／破砕機設置
1998年	9月	(株)吉本興業／焼却施設完成
1999年	9月	中国特殊(株)／台風18号による堤防決壊で下松リサイクル工場損壊
2001年	6月	中国特殊(株)／下松エコセンターに污水处理施設完成・運転開始
2002年	8月	中特グループ／ISO14001取得
2003年	4月 10月	(株)中特工事から「株式会社リライフ」に社名変更 (株)リライフ／産業廃棄物処分業許可 取得(焼却施設・污水处理施設)
2004年	9月	(株)リライフ／台風18号による高潮で東海岸の岸壁が決壊(事務所・工場設備、書類など流出)
2005年	4月	(株)リライフ／篩分・混合施設完成
2006年	2月	(株)吉本興業／焼却施設休止
2007年	1月	(株)吉本興業／熔融機設置
2009年	1月 2月 5月	(株)リライフ／脱水・脱塩施設完成 (株)吉本興業／選別施設完成 (株)吉本興業／圧縮機設置
2010年	3月	(株)リライフ／山口県エコ・ファクトリー認定
2012年	1月 4月 6月 7月	中特グループ／ポータルハートデスク設置 株式会社中特ホールディングス 設立 (株)吉本興業／周南市一廃再生利用業許可 取得 (株)中特ホールディングス／ダチョウ飼育による食品リサイクル事業開始
2013年	4月	中国特殊(株)／周南市と「周南市高齢者等見守り活動に関する協定書」を提携
2014年	4月 8月	(株)藤井興業／周南市と「周南市高齢者等見守り活動に関する協定書」を提携 (株)吉本興業の産業廃棄物の収集運搬及び処分業を(株)リライフに全面移管 (株)吉本興業、車両・ユニフォームを一新、一般廃棄物収集運搬とポータルハートサービスに特化
2015年	2月 3月 4月 6月 8月	(株)中特ホールディングス「中国地域カーボン・オフセット賞優秀賞」を受賞 (株)中特ホールディングス／スズクホールディングス、エンビプロ・ホールディングス2社間の包括業務提携にイボキン・やまたけ・マテックと共に加わり6社間包括業務提携契約を締結 経済産業省・中小企業庁より「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定され受賞 (株)リライフ／脱塩・分離・改質施設完成 (株)中特ホールディングス／包括業務提携に青南商事が加わり、7社間包括業務提携契約を締結 (株)中特ホールディングス／環境省主催「環境人づくり企業大賞2014」にて奨励賞受賞 中特グループ／創立50周年にあたり企業理念を一新

生活環境革命で人々を幸せにします！

2015 トップインタビュー



中特グループ副代表

橋本 ふくみ

—— 50年の歴史を刻んできた中特グループについて、あらためて現状をどのように考えておられますか？

50年と言えば半世紀ですね。私が入社して約30年、経営を任されてからやつと9年目に入ったところで、この間時代は大きく変化して来ました。

まず初めに申し上げたいことは、これまでの中特グループを共に歩んでくれた社員の皆さん、そしてその社員を支えて下さったご家族の皆さんに心から感謝の言葉を贈りたいと思います。ありがとうございます。

先代の強いリーダーシップの下、このままでは生き残れない、変わらなければいけないとの方針に戸惑いながらもよくぞついてきてくれました。

—— このたび新しい企業理念に生まれ変わりましたがその思いを紹介いただけますか？

50周年を迎えるにあたりまず頭に浮かんだのは、第二創業期という思いでした。これまでの中特グループを第一章とするならこれからはよいよ第二章のスタートの時だと。

それで第二章の中特グループのストーリーを描きながら企業理念を刷新しようと思いましたが。そして新たに、私たちの使命を「生活環境革命で人々を幸せにします」にしました。「創造」と言うよりも今の私の感覚では「革命」の方がしつくりきまして。(笑)

—— 10年・20年後或いは50年後に向けて中特グループをどのように導いて行くお考えでしょうか？

正直に言うと先のことはわかりませんね。これまでの50年間にも想定外のことはたくさんありました。ただこれまでと大きく違うのは変化のスピードがあまりにも急速だということでしょうか。特にテクノロジーの進化は恐ろしいほどです。また、もはやいつ何処でどの規模の災害が起こるか分からない自然災害の不安もあります。ですから、その時代に求められたことに全力を尽くす、変化に対応しながら生きて行くことだと思っています。また同時に、時代がどのようにに変化しようとも大昔から変わらない原理原則の追及や中特グループの使命を誠実に行うことでしょうか。

このことに私たち中特グループの人ひとりが一致団結し全力で取り組む。私はそれを先導します。

社会の役に立つ、強く必要とされるには、自分のことだけ考えてはいけません。社員の皆さんには、個々の能力をレベルアップすることも大切ですが、それ以上に誠実で思いやりがあり、周りの人に感謝の念を持つことが人間性を磨くことが大切だと思います。

もちろんまずはトップである私自身成長せねばなりません。

—— CSR活動に関してステークホルダーの皆様へ思いをお伝え願います。

私たちが行ってきた活動に関しまして、日頃よりステークホルダーの皆様のご理解とご協力の賜物であると思っております。心より感謝申し上げます。

私は、「社会の役に立つほど事業が発展する、事業が成功するほど社会の役に立つ」を信念としています。この想いを形にし、今後も生活環境問題の解決のためにあらゆることに挑戦して行きたいと思っております。皆様、今後とも中特グループをどうぞよろしくお願い致します。



7社間包括業務提携

株式会社中特ホールディングスは3月、スズトクホールディングス株式会社と株式会社エンビプロ・ホールディングスとの包括業務提携に株式会社イボキン、株式会社やまたけ、株式会社マテックとともに（6月に株式会社青南商事も）加わり、7社間包括業務提携契約を締結しました。

今回の業務提携では、7社の保有する経営資源を最大限に活用し、事業を通じて持続可能な社会を実現し、かつ事業に関わる関係当事者の幸福に貢献することを目的とします。

7社は協力して現在の事業を成長させるとともに、独自性ある技術及び新たなビジネスモデルを確立して社会的価値の向上を目指します。同時にアジアを中心に海外事業を促進し、欧米諸国の大規模な同業者との競争に耐えうるグローバルな展開の実現を目指します。

また7社が目指す理念及び方向性に共感を示す同業者等の参加を積極的に受け入れます。同時に7社



が属する隣接業界においてもリーダシップを発揮し、日本を代表する「リサイクルメジャー」として資源、エネルギー分野における国家戦略の一翼を担う事業を行うことを目指します。

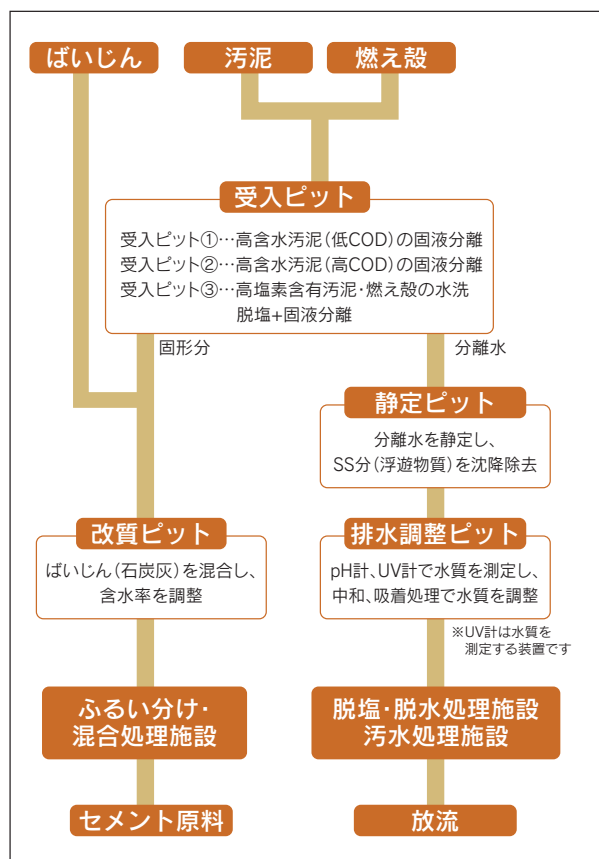
提携協力項目

- ① 営業企画に関する事項
- ② 共同の仕入れに関する事項
- ③ 共同の販売に関する事項
- ④ 技術ノウハウに関する事項
- ⑤ 障害福祉事業に関する事項
- ⑥ 遵法・コンプライアンスに関する事項
- ⑦ 総務・人事・庶務・事務・会計に関する事項
- ⑧ コンピュータシステムに関する事項
- ⑨ その他、7社が決定した事項

業務提携先の概要

名称	スズトクホールディングス株式会社	株式会社エンビプロ・ホールディングス	株式会社イボキン	株式会社やまたけ	株式会社マテック	株式会社青南商事
本社所在地	東京都千代田区大手町1丁目7番2号東京サンケイビル15階	静岡県富士宮市山宮3507番地の19	兵庫県たつの市揖保川町正篠379番地	東京都足立区西新井5丁目35番13号	北海道帯広市西21条北1丁目3番20号	青森県弘前市大字神田5-4-5
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 グループCOO 松岡直人	代表取締役社長 佐野富和	代表取締役 高橋克実	代表取締役 山口 章	代表取締役 杉山博康	代表取締役 安東元吉
事業内容	グループの事業（リサイクル廃棄物処理とその関連事業）の統括	資源リサイクル事業を行う傘下事業会社の経営管理	鉄・非鉄リサイクル、廃棄物リサイクル、解体撤去工事全般	鉄・非鉄スクラップ加工処理、産業廃棄物中間処理・収集運搬、自動車・家電リサイクル	鉄・スクラップ・紙の収集運搬、加工、リサイクル	非鉄金属・製鉄原料の回収、加工及び販売
資本金	100百万円	704百万円	40百万円	10百万円	96百万円	98百万円
売上高	53,647百万円 (2014年6月30日現在 グループ事業会社8社合計)	35,786百万円 (平成26年6月期)	6,967百万円 (平成26年12月期)	2,138百万円 (平成26年3月期)	25,737百万円 (平成26年12月期)	21,569百万円 (平成26年12月期)
設立年月日	平成19年7月2日	平成22年5月21日	昭和59年8月1日	昭和40年4月1日	昭和35年1月12日	昭和47年9月1日

■ 脱塩・分離・改質処理施設フロー図



株式会社リライフの下松リサイクル工場に「脱塩・分離・改質施設」を新設し、稼働を開始しました。建設工事や工場から排出される高含水汚泥や塩分を含んだ汚泥・燃え殻をセメント原料になるように脱塩・分離・改質処理します。

既存施設と合わせて産業廃棄物の品目の拡大、受け入れ量の拡大、リサイクル率のさらなる向上を図っています。

下松リサイクル工場 新施設完成



4月16日に新たに完成した「脱塩・分離・改質施設」の竣工式を執り行いました。

竣工式



5月22日に取引先の皆様をお招きし、新施設の見学会を開催しました。

新施設見学会を開催

がんばる中小企業 300社

3月27日、経済産業省・中小企業庁より「がんばる中小企業300社」に選定され表彰されました。

「がんばる中小企業300社」とは革新的な製品開発、創造的なサービスの提供を通じて地域社会に貢献する中小企業・小規模事業者を選定表彰するもので、これを広く周知することで、選定された事業者等の社会的認知度や労働者等のモチベーション等の向上を図ることに加え後進の育成も目的とする、とされています。

評価されたのは主に次の点です。

①リサイクル技術を磨き、産学連携でハウスダスト対策用スプレーの開発・商品化に成功

スパーやレストランで発生する食物残さを餌としてダチチョウを飼育し、卵の生産を行う食品リサイクルを実施。大学と連携し卵を利用したハウスダスト抗体の製法を開発、ハウスダスト抗体スプレーを開発販売した。

また、株式会社リライフでは塩分含有汚泥を処理している。

②高齢化問題に着目しビジネスモデルを展開

ポータルハートデスクを開設し、遺品整理や不用品処分、高齢者のお困りごとにグループ各社が持つ得意分野を総合的に提供して対応している。

③地域における雇用創出、女性活躍、地元企業のリサイクル率向上に貢献

現在グループ全体で約100名の地域雇用を創出し、地域の活性化に貢献している。業界には珍しく、グループトップ3人が女性経営者で、女性視点でのビジネスや経営管理が重視され、女性の働きやすい環境を構築している。



環境人づくり企業 大賞2014奨励賞

この賞は、「地球環境と調和した企業経営を実現し、環境保全や社会経済のグリーン化を牽引する環境人材の育成推進を目的に、社員を対象として優良な環境教育を行っている事業者を表彰する」というもので、このたび、中特ホールディングスが「奨励賞」を受賞しました。

「従業員が地域へ出て環境活動をし、それを研鑽の場と位置づけており、テーマも多岐にわたる。地域に即し実践しながら、一緒に悩み改善していくというプロセスがある」という評価をいただきました。

日々の社員達の取組みを評価していただけたこと、大変嬉しく思います。これからも地域に愛され必要とされる企業になるために社員一人一人がさらなる成長をめざします。





今年も継続して取り組みました

『中国地域カーボン・オフセット
賞優秀賞』に選ばれました。
この賞は中国地域においてJ・ク
レジット制度やカーボン・オフセッ
トの普及促進を図るため中国地域
J・クレジット制度ネットワーク会
議がカーボン・オフセットの取り組
みを評価し、実施団体を表彰するも
のです。
中特グループは周南24時間リレー
マラソンの会場のエネルギー使用や
参加者の移動交通、日常生活に伴う
CO2排出量の一部をオフセットし、

また、リレーマラソンで走った距離に
応じてオフセット量を設定する仕組
みとし、参加者を巻き込んだ取り組
みとして評価していただきました。



5月28日、山口グランドホテルに
て開催された一般社団法人山口県
産業廃棄物協会第3回定時総会に
おいて弊社グループより中国特殊
株式会社橋本ふくみが産業廃棄物
業界功労者表彰を、株式会社リライ
フが優良事業所表彰をそれぞれ受
賞しました。

山口県産業廃棄物 協会表彰



賞に恥じないよう今後もなおいっ
そう社員一同業務に邁進します。



新中期環境保全計画

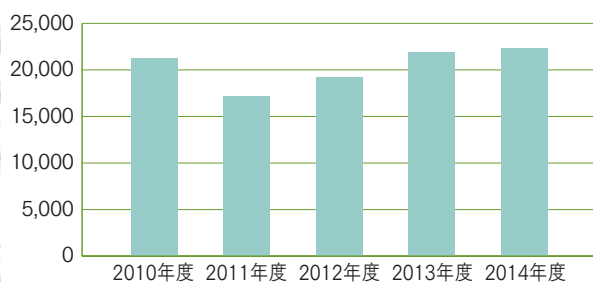
2015年度から新しい経営計画に合わせて新中期環境保全計画を策定しました。
内容は次のとおりです。

環境目的	施策	～2016年7月	～2017年7月	～2018年7月
1 再資源化量の拡大	処理管理の徹底 顧客開拓訪問	再資源化2014年度比15% 増 18,818t / 年→21,640t / 年	2014年度比30% 増 →24,463t / 年	2014年度比45% 増 →27,286t / 年
2 被処理物受入量の拡大	新設備の活用 難処理物の受入れ	受入量2014年度比15% 増 22,295t / 年→25,639t / 年	2014年度比30% 増 →28,984t / 年	2014年度比45% 増 →32,327t / 年
3 電力原単位 (kWh/百万円) 向上	省エネ対策の実施 こまめな管理	電力原単位2014年度比2% 減 352.4→345.4kWh / 百万円	電力原単位2014年度比4% 減 →338.3kWh / 百万円	電力原単位2014年度比6% 減 →331.3kWh / 百万円
4 燃料原単位 (L/百万円) 向上	燃費向上対策の実施 作業ルート、効率アップ検討	燃料原単位2014年度比2% 減 171.4→168.0L / 百万円	燃料原単位2014年度比4% 減 →164.5L / 百万円	燃料原単位2014年度比6% 減 →161.1L / 百万円
5 環境保護活動の推進	各部門で施策計画実施 清掃ボランティアその他	5S・構内美化・花壇整備 ボランティア活動3回/年1人	5S・構内美化・花壇整備 ボランティア活動4回/年1人	5S・構内美化・花壇整備 ボランティア活動5回/年1人
6 災害事故件数の削減	RA活動の定着 JBKの継続実施	災害事故件数 3件/年 RA、PDCAの定着	災害事故件数 1件/年 OHSAS 認証取得	災害事故件数 0件/年
7 苦情件数の削減、お客様の声収集	再発防止対策の徹底 業務の見直し明文化	苦情件数 0件 お客様の声収集1,000件/年	苦情件数 0件 お客様の声収集1,200件/年	苦情件数 0件 お客様の声収集1,500件/年

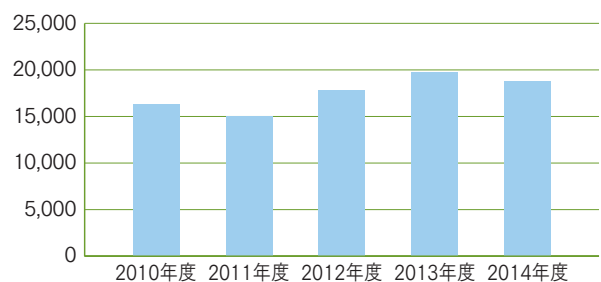
環境パフォーマンス実績

2014年度の環境パフォーマンス実績は下記のとおりです。
一般廃棄物及び汚泥再資源化量の拡大は、取巻く状況変化があり苦戦しています。

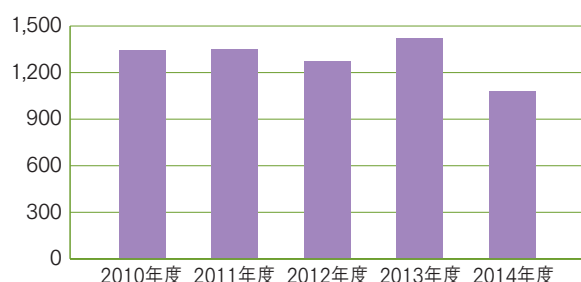
被処理物（汚泥）受入れ量の推移（t/年）



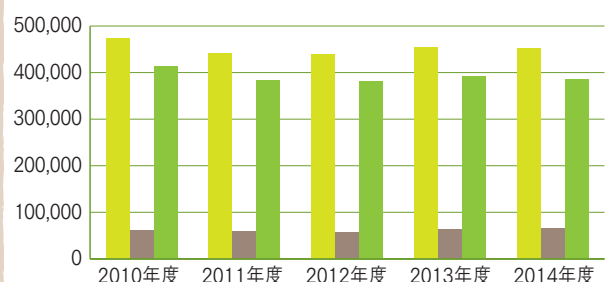
（汚泥）再資源化量の推移（t/年）



一般廃棄物の再資源化量の推移（t/年）



電力使用量の推移（kWh/年） ■全電力 ■事務所電力 ■工場電力



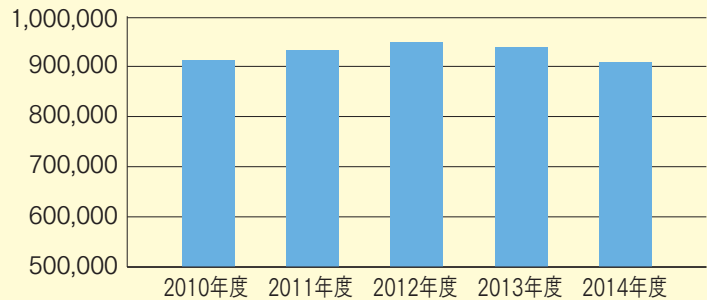


CO₂排出量削減

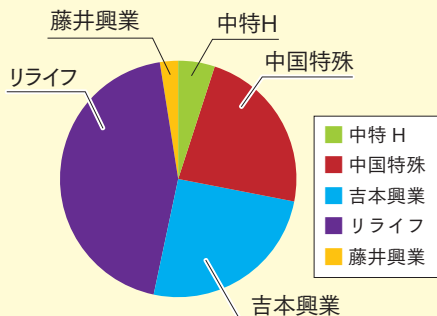
地球温暖化防止には温室効果ガスの低減が必須です。

中特グループも地球環境から見ればわずかな量ですが、削減に努め、2015年度からは電力・燃料(原単位)2%削減の数値目標も設定しました。

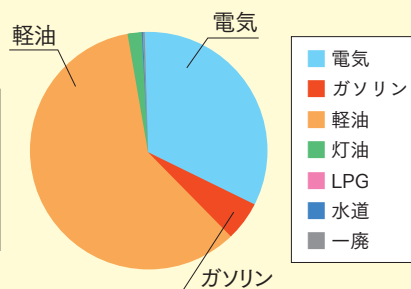
CO₂ 排出量の推移(グループ合計)(kg/年)



各社別排出量



種類別排出量



(算定資料)

種 類	単 位	係 数	単 位
電気	kWh	0.717	kg
LPG	m ³	0.818	kg
水道	m ³	0.58	kg
一般廃棄物	kg	0.84	kg
灯油	リットル	2.49	kg
ガソリン	リットル	2.32	kg
軽油	リットル	2.58	kg

マテリアルバランス

事業活動に伴う資源・エネルギーなどの投入量と、それに伴う地球環境への排出量を表しています。限りある資源を大切に、環境負荷を最小限にすべく取り組んでいます。

INPUT 事業に伴う資源・エネルギー等

がれき	727t
ガラス陶磁器くず	180t
廃プラスチック類	580t
金属くず	180t
紙・繊維くず	28t
石膏ボード	29t
木くず	517t
汚泥	20,849t
廃アルカリ廃酸	460m ³
廃油	499m ³
鋳さい	83t
動植物性残渣	0.5t
燃え殻	233t
処理水	57,294m ³
電力	451,321kWh
ガソリン	21,347ℓ
軽油	198,095ℓ
灯油	7,850ℓ
LPG	77m ³
水道水	2,428m ³
地下水	2,100m ³
コピー用紙	129,072枚

中特グループ

OUTPUT 再資源化、地球環境への排出等

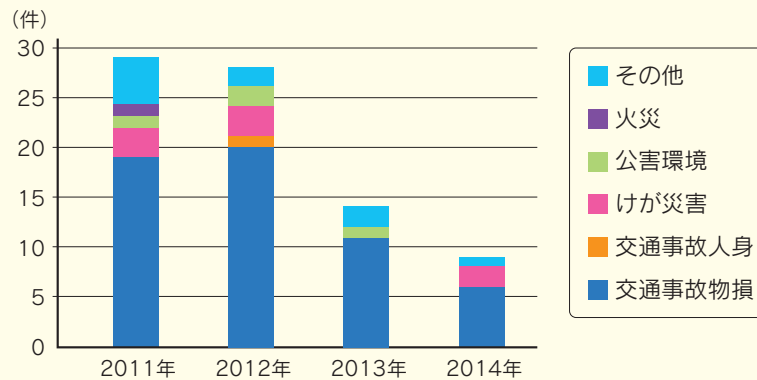
がれき	1,151t
ガラスコンクリ陶磁器	438t
廃プラスチック	693t
金属くず	111t
紙・繊維くず	30t
石膏ボード	61t
木くず	740t
セメント原料	16,421t
廃油	6m ³
アスファルト材	17t
肥料原料	1t
処理排水	54,173m ³
CO ₂ 排出量	908t
下水排水	2,420m ³
地下水排水	2,100m ³
一般廃棄物	1,745kg

(2014年度分)

事故災害ゼロの取組み

中特グループでは事故災害ゼロに向けてさまざまな活動を推進しています。各種活動により事故災害は大幅に減少しています。

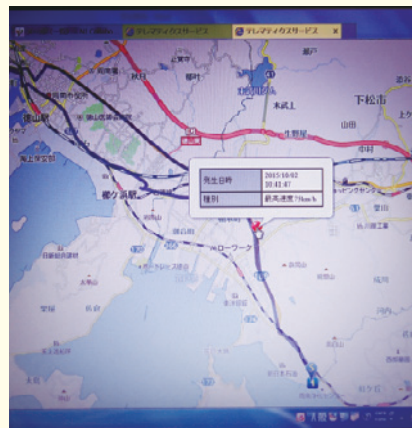
■ 年度別事故災害発生件数の推移



業務の性格上、大きな事故はありませんが軽い交通物損事故の発生確率が高い状況で、この対策に取り組んでいます。

GPSの装着と安全運転技能の向上

グループ全車両にGPSを装着し、スピード超過、急加速・急減速・長時間運転、長時間アイドリングを監視し、情報を管理者へ送信し安全運転への注意喚起などの取組み、同時にエコ運転への取組みを本年9月より開始しました。



事故撲滅研修会 (JBK)

各部門で事故ゼロを目指し事故撲滅防止研修会 (JBK) を実施しています。グループ内外の事例・ヒヤリハットの検討、KY、安全に関わる勉強会などを行っています。

リスクアセスメント活動

今年度より重点取組みとしてリスクアセスメント (RA) 活動の定着を図っています。選抜メンバー10人を中災防のセミナーへ派遣し、その人がリーダーとなってグループ内のリスクを抽出し、策定したRA基準に沿ってアセスメント並びに作業改善に取り組んでいます。



交通安全講習会

1月に株式会社ライフデザイン藤本様、寺田様をお招きして交通安全講習を実施しました。講習では具体的な事故例を用いた対処法の説明など分かりやすく教えていただきました。



7月には山口県環境生活部地域安心・安全推進室から来社いただき、交通安全講習を実施しました。



危険予知活動（KY） ヒヤリハット摘出

事故災害の芽をつみ、潜在危険の排除を図るため、毎日KY活動、ヒヤリハット摘出活動を実施しています。



AED・救命講習会

周南消防本部より講師をお招きし、普通救命講習会を行いました。



各種訓練

定期的に誘導訓練を実施しています。



1年に1回消火訓練を実施しています。



重機安全講習会

重機メーカーの専門家を招き安全講習を実施しています。



緊急事態対応訓練

リライフ緊急対応訓練



HOSグループ緊急対応訓練



安全パトロール

安全週間、労働衛生週間など節目ごとに作業場・倉庫・事務所・控室その他をCSR推進室が中心となり巡視しています。また随時、車両通行状況、安全運転の取組みをパトロールしています。

安全+第一



地域社会との ガガわり

エコフェス

5月30日に中特グループ本社にて「第2回エコフェスin中特グループ」を開催しました。

車両展示や若手社員によるジャグリング、リサイクル工作、ミニ縁日、環境・エコに関するクイズラリー、またビン・缶・ペットボトル等資源物の無料回収も行いました。今年は「カフェミナ」さんの出張販売もありました。

このエコフェスは5月30日（ごみゼロの日）や6月が環境月間ということもあり、地域の皆様にイベントで楽しみながら環境について考えていただくきっかけになればという思いから開催し、今回で第2回目です。沢山の方にご来場いただきありがとうございました！



こどもつちゃ商店街

11月23日に周南市徳山商店街（銀座通り中心）で開催された「第5回こどもつちゃ！商店街」に中特グループよりエコライフプロジェクトが参加いたしました。

「こどもつちゃ！商店街」とは、団体・企業の方と働く体験を通して、小学生の皆様に働く喜びを感じていただき、将来の夢を描いていただくことを目的としたイベントです。

中特グループは吉本興業のゴミステーションでのゴミ分別の仕事を体験していただきました。





分別マイスター認定証

お仕事の最後には頑張ってくれた証として分別マイスター認定証を贈呈させていただきました！



周南冬のツリーまつり清掃

12月23日に開催された2014周年冬のツリーまつりで中特グループがボランティア清掃をしました。青空公園から徳山駅周辺までのごみ拾いをして回りました。



生ビール・カキ氷の販売も行いました



徳山夏祭り清掃・ごみ分別

7月25日に第42回徳山夏祭りが開催され、(株)吉本興業が「ゴミ分別案内」と「ゴミ拾いの奉仕活動」で参加しました。



環境出前授業

周南市の各小学校で順次環境出前授業を実施しています。小学生に環境に関する意識、3R、分別などの知識が少しでも高くなればと願っています。

地域清掃 ボランティア

4月4日、エコライフプロジェクト企画で地域清掃を実施しました。従業員の家族も参加し、3コースに分かれ約1時間半地域清掃を実施しました。毎月出勤土曜日に実施している地域清掃活動の拡大版です。



3月14日に行われた晴海公園・埠頭清掃に参加しました。大量に捨てられたごみや、草木の回収を行いました。



6月6日、株式会社リライフ主催で下松市笠戸島はなぐり海岸の清掃ボランティア活動を行いました。海岸に捨てられているゴミや、流れ着いた海藻を拾い、草刈りも実施しました。今後とも継続していきます。



8月8日、瀬戸内の海を美しくする会へ参加し櫛ヶ浜漁港の清掃活動を実施しました。海中に捨てられた自転車等まで回収しました。



終活セミナー

5月24日、ホテルサンルート徳山で第2回目の終活セミナーを開催しました。

今回は「今」だから知っておくべきこと、快適なセカンドライフを送るために「を」テーマに、相続税やエンディングノート、生前整理について講演致しました。

今後も少しでも皆様のお役に立てる様に企画開催していきます。



「いまできること」～生前整理について～
(株)吉本興業 ポータルハートサービス
チームリーダー 篠田直美



「知りたい相続税」
中特グループ 財務顧問
ご講演 澄田卓也税理士



「マイ・ウェイ」
～エンディングノートについて～
講演 吉本興業社長 吉本妙子

終活セミナーin ケアマネ勉強会

1月9日、地域包括センターからのご依頼で、新南陽病院にてケアマネージャーの皆様にご講演を行いました。

「安全・快適環境ファシリテイト」～生前整理から遺品整理～の演題で今私たちが出来ることを紹介しました。高齢者にとって安全で生活しやすい環境を整える、セカンドライフをトータルでサポート、お客様から安心・信頼していただけるように資格取得者が対応致します。



いきいきサロン& ランチ座談会

中特グループはもやいネット事業に参加しており、我社の自慢「元気」と「笑顔」をお届けしようと周南市内約180か所のいきいきサロンに参加させていただいています。



2月17日にはサロンお世話係の皆様と、おしゃべりしながら食事するランチ座談会も行いました。

Happy!! Happy!! 勉強会

6月5日に下松市地域交流センターにて「第9回Happy!! Happy!! 勉強会」を開催しました。

講師に、N O 1 習慣形成コンサルタント・ナニメンこと有会社社シンプルタスク 代表取締役 吉井雅之氏をお迎えして、演題「最強のプラス思考のつくり方」をご講演頂きました。勉強会で学んだ、「最強のプラス思考のつくり方」をさっそく実践して業務に励んでいきたいと思います！



よしい まさし
吉井 雅之氏

- 有限会社シンプルタスク代表取締役
- 喜働会会長
- JADA協会認定SBT1級コーチ

エコテクノ2015 「地球環境ソリューション展」へ出展

10月7・8・9日に西日本総合展示場にて開催された「エコテクノ2015」地球環境ソリューション展に出展しました。

地球環境時代にふさわしい低炭素温暖化防止技術、浄化・汚染防止技術など環境ソリューション技術と共に、創エネ・省エネなど新たなエネ



ルギー社会の実現に向けた製品・技術等を紹介する内容です。中特グループは下松リサイクル工場新施設の「脱塩・分離・改質」施設の紹介を中心に、ダチョウ飼育により生まれた「アレプロテクト」なども紹介しました。

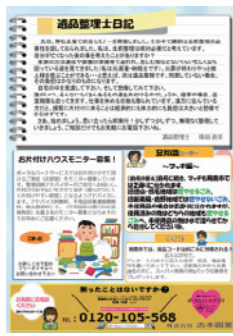
ポータルハートサービス

ポータルハート通信

この「ポータルハート通信」では、地域の皆様へ少しでもお役に立てるよう不用品回収や遺品整理、身近なごみに関する豆知識などの情報を毎月お送りしています。

専用サイト <http://www.portalheartdesk.com>

平成27年1・2月号



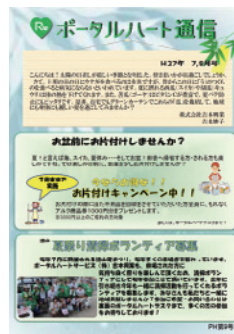
平成27年3・4月号



平成27年5・6月号



平成27年7・8月号



工場見学の受入れ

下松リサイクル工場では、今年も積極的に工場見学を受入れ昨年を上回る400人以上の皆様にご来場いただきました。

東北6県再生組合様



共栄資源センター小郡様



中国しはく市・日中友好協会様



新施設見学会



事業発展計画発表会

9月5日、遠石会館にて2015年度事業発展計画発表会を開催しました。

社員との
かかわり



～ 今 期 の テ ー マ ～
「さあ第2章の始まりです」
50年の節目、創業(会長)の時代から、次の50年(ふくみ劇場)に向っていきべきスタートを切る発表会となりました。
中特グループ代表の挨拶
吉本英子



前年度総括及び
中期ビジョン・
新年度目標の発表

中特グループ副代表
橋本ふくみ



サマンサジャパン株式会社
代表取締役会長兼 CEO
小野英輔様によるご講演
「私の人生」



株式会社日本政策
金融公庫下関支店
支店長 宇野 司様



株式会社山口銀行
櫛ヶ浜支店
支店長 濱田浩司様



株式会社広島銀行
徳山支店
支店長 妻崎博之様



新しい
企業理念の唱和
吉本妙子



各部門代表による
決意表明



藤田 晃大



江本 舞美



岩井 勝己



廣瀬 和子



内山 浩



野村 聖治



有田 誠



廣瀬 光雄

身だしなみが素晴らしいで賞



山縣 大輔



田村 祐治



井上 稔朗

マナー部門賞
笑顔が素晴らしいで賞



総務管理部



藤田 晃大



野村 香菜

改善提案
部門賞

最多改善提案
個人賞

最優秀
改善提案賞



CS 営業部



CS 営業部



総務管理部

最優秀部門賞

無事故・無災害賞

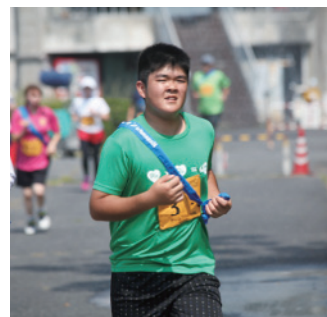
第12回 周南24時間リレーマラソン in Yamaguchi 参加

第12回周南24時間リレーマラソン
in Yamaguchiが6月26、27日の2日
間開催されました。

中特グループも走り込み・仮装準備・豪華料理と事前準備を整え、また、カーボンオフセット(CO2排出

埋め合わせ↓ピックアップ欄記載を行いました。

順位はともかく、サポート・準備
含め全員参加で楽しみ、地域社会への
アピールも行い、無事フィニッシュ
したのが何よりでした。



各種勉強会・研修会

法務勉強会

定期的に中特グループ法務顧問行政書士エース環境法務事務所代表尾上雅典様をお招きして法務勉強会を開催しています。廃棄物処理法について基礎編と上級編に分けて学んでいます。



施設見学

県内外の各施設を機会あるごとに訪問参加し知識を広めています。



原価計算勉強会

原価計算の仕組みや考え方について財務顧問の澄田税理士による講義を各部門で実施しています。



リーダー研修会

業務遂行の中心となる主任以上のリーダーに対して定期的な研修会を継続して実施しています。



自立型リーダー研修会

主任以上のリーダー、将来のリーダーを目指す社員、希望・意欲のある社員を対象に、今年のHAPPY勉強会で講師をお願いしました吉井雅之氏を月2回お招きし、自立型リーダー研修会を開催しています。講師いわく

言葉には不思議な力があります。マイナス言葉、人にいやな思いをさせる言葉、暗くなる言葉をいつも使っているとまたこういう言葉を使ってしまうようないやな出来事が起こる。プラス言葉、人を喜ばせる言葉、明るくなる言葉、元気になる言葉をいつも使っていると、またこういう言葉を使いたくなるようなうれしい出来事がどんどん起ります。

講師の教えを実践し、グループ内でのあいさつは「お疲れさま」ではなく「お楽しみさま」に変えています。

中特グループではプラス言葉、人を喜ばせる言葉、やる気が出る言葉、感謝の言葉、やさしい言葉があふれています。きつとうれしい出来事がどんどん起こると思っています。

中特アカデミー開講

平成27年度より新たにグループ全社員を対象に「中特アカデミー」を開講しました。

社員のレベルアップを図り、グループの目標を達成し「未来創造プラン」を実現して行く能力をつけることを主眼にしています。単位制とし1単位、90分の講義で必須科目、選択科目に分け、年間スケジュールを作成しており、今年度は全員最低7単位取得することを目指しています。

主な内容は

- 中特フィロソフィ(理念教育)
- 管理会計について(原価計算)
- 社会的ルール、社内規程他
- 習慣形成トレーニング
- 各部門の教育

各部門で社員による社員のための研修内容を考え企画した内容



リライフ自主勉強会

リライフ下松工場では全業務を順次相互に教え合い、ピーク時は応援可能なレベルを目指しています。



新施設概要について

吉本興業

基準行動マニュアル説明勉強会



eクリーン勉強会

管渠内TVカメラ調査に使う機器のデモをメーカーに実施してもらい、技術・知識の習得をしています。



HOSグループ・藤井興業

浄化槽勉強会



資格取得の推進

会社として社員の育成に注力し、社員もまた自ら能力向上に取組み、その能力を十分に発揮することで高い成果を上げることができるよう資格認定・自己啓発支援制度を制定しています。

平成26年度は延べ80名が資格取得しております。

資格取得例

- 一般廃棄物実務管理者講習6名
- 酸素欠乏危険作業主任者2名
- 有機溶剤作業主任者2名
- 終活カウンセラー初級検定9名
- 下水道管理技術検定1名

など

社外セミナー等派遣

各事業部グループで検討し社外セミナー、講習会、研修会へ計画的に派遣して、必要な資格・技術・知識を確保しております。

セミナー例

- 産廃協会環境セミナー
- 整理収納アドバイザー
- 貯水槽清掃監督者講習

など

社員研修旅行

従業員の視野を広め、見識を高め、同時に業務の慰労と親睦を図るため毎年研修旅行を行っています。

今年度は福岡県の株式会社障がい者つくし更生会様を訪問致しました。「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で審査員特別賞を受賞されております。廃棄物処理の現場で、各社員が障がいをほとんど感じさせないほど、お互いの連携で一つの業務を成しとげる姿や、いきいきとした職場の雰囲気、一同感心させられました。



(株)障がい者つくし更生会

その後、長崎へ移動し世界遺産の軍艦島及びグラバー邸など長崎市内を観光しました。



長崎軍艦島



吉本興業は2月に「おもてなしの心を学ぶ」をテーマに、東京デイズニールランドに行きました。
サービスに関わる業務でお客様に笑顔になつてもらえるおもてなしができるようサービス向上につなぐがば幸甚です。



社員親睦行事

「中特グループ親睦会」では、各社各部门の交流及び親睦を深めるため日帰り旅行、花見、ビアガーデンなどの親睦行事を実施しています。



宮島への
日帰りバス旅行



お花見



ビアガーデン

会社説明会を、本社及び周南市内ホテルその他で鋭意開催しております。興味のある学生の方は是非来場して見ていただくとともに、会社研究に役立ててください。またインターンシップなども適宜企画実施しております。

やまぐちインターンシップ & キャリア学習フェア2014

11月8日にセントコア山口で開催された『やまぐちインターンシップ & キャリア学習フェア2014』に参加しました。



当社に興味を持ってブースに来ていただいた方、ありがとうございます！

12月25日には山口グランドホテルで開催された『やまぐちインターンシップ & キャリア学習フェア2014 冬』に出展しました。当フェアは事業所と学生との出会いの場を提供し、学生の業界や仕事の理解を深めることを目的として開催されました。



やまぐち業界発見ガイダンス

1月13日、広島にて開催されたやまぐち業界発見ガイダンスに参加しました。



リクナビ会社説明会

3月18日、山口グランドホテルにて開催されたリクナビ会社説明会に参加しました。



中特グループ会社説明会

3月30日、ホテルサンルート徳山にて会社説明会を開催しました。



第3者意見



山口大学 大学教育機構
学生支援センター・就職支援部
教授、博士（マネジメント）

平尾 元彦様

山口大学就職支援室には、CSR報告書コーナーがあります。毎年、各社から百冊以上の報告書をいただきますので、就職活動中の学生が閲覧できるよう配架しています。並み居る大手企業のなかで、おおいに存在感を発揮するのが「中特グループCSRレポート・コミュニケーション」のファイル。複数冊が綴じられるように、立派なファイルをいただきました。提供いただいた冊子は、いつでも手にとることができるようにしています。

私は、山口大学で全学の就職支援を担当しています。したがって会社の皆様とは、採用活動を通じてのか

かわりが中心となります。県内で開催される合同説明会や、会社訪問、さらには面接などの選考を通じて、学生たちがお世話になっております。と、通常の会社ではこれまでですが、中特グループ様とは、このほかに様々な関わりがあります。

先日、工場見学に行かせていただきました。やまぐち総合ビジネスメッセのブースを学生が訪問しました。インターンシップでも学生が学んでいます。さらに、大学のキャンパスで開催する研究会にもご参加いただき、学生たちに直接話をしていただきます。就職活動の前に、まずは郷土の企業を知ることが大切。そのためにはビジネスの現場を体感すること、出会って話をするのが大切なのです。直接的な採用活動の前に、志望しているかどうかよくわからないう学生のために、丁寧に話をさせていただいています。学びの機会・出会いのチャンスをつくっていただいています。若者を育てるということ、広い心をもつて接していただくことに、感謝申し上げます。

CSR報告書を拝見した第一印象

象は、写真が多い、笑顔が多いということ。大手企業のかしこまった報告書とは一味違って、ほのぼのとした気持ちを抱きます。なにより社員の方々が多数登場する。社外の皆様には、社員の生き生きとした働きぶりを知ってほしい。社員の皆様には、会社として考えていること、他の社員が取り組んでいることを知ってほしいというお気持ちなのでしょう。明確なメッセージが伝わってきます。

会社をとりまくパートナーのひとつに大学もあるとすれば、共同研究や学生への教育、さらには就職活動へと、様々なつながりが考えられます。インターンシップなどの機会を通じて、これからもどうぞ学生を受け入れてください。地域の企業での経験は学生にとって貴重な学びとなるでしょう。このほかにも学生の教育や社員の採用を効果的に行っていくためにどうしたらいいのかを、一緒に考えることができればと思っています。どうぞ「一緒に」。

地域とともに、山口とともに、ますますのご発展を期待しています。

第3者意見を受けて

中特グループは、リサイクル（Re）の種を育てグリーンな社会を創る思いを込めたファイルを作成しています。

採用活動においては、まずは中特グループのことを知っていただきたいと思っています。

今後も様々な機会を通して弊社を知っていただくよう努めてまいりますのでご協力よろしく願います。

CSR報告書の内容については、ガイドライン等を参考にしていますが、ステークホルダーの皆様にはわかりやすく、社員のさまざまな活動を知っていただく方向で企画してまいります。

機会があれば共同研究その他様々なつながりを深め、山口地域の発展のために、一緒に、ご協力、活動出来ればと思います。

今後ともご指導ご協力お願いいたします。

CSR推進室長

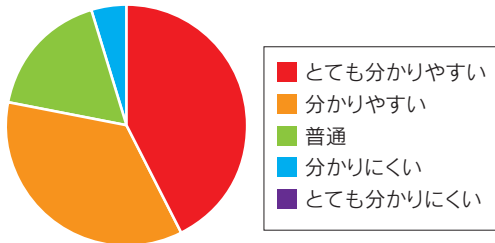
遠藤清治



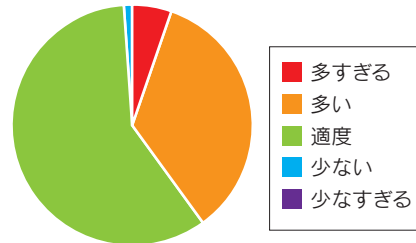
CSR 報告書 vol.2 アンケート集計

前号のアンケート集計結果は下記のとおりです。

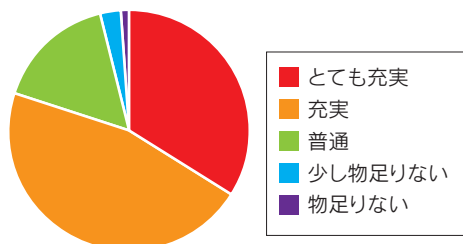
分かりやすさ



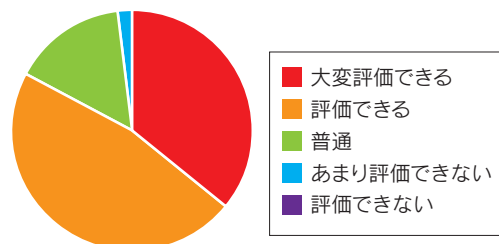
記事の量



内容充実度

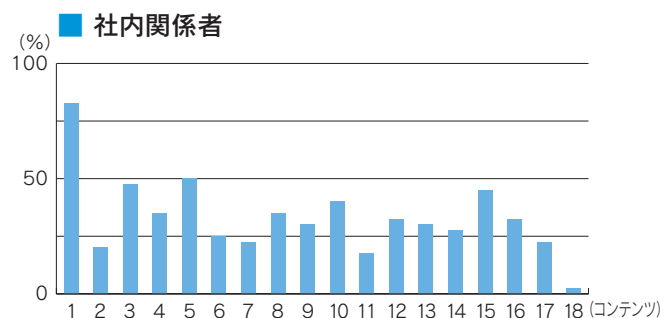
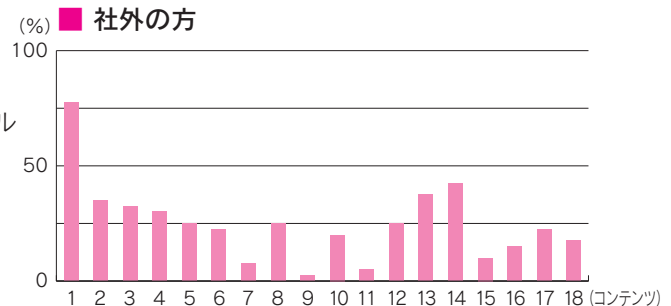


活動評価

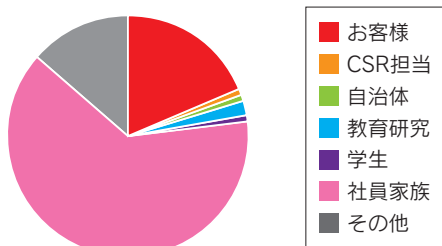


関心を持ったコンテンツ

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 トップインタビュー | 11 ポータルハート |
| 2 グループ紹介理念信条 | 12 工場見学・吉本リニューアル |
| 3 事業内容関連事業 | 13 事業発展計画発表会 |
| 4 環境活動 | 14 研修会勉強会 |
| 5 エコフェスin中特 | 15 24時間マラソン |
| 6 地域清掃活動 | 16 旅行親睦行事 |
| 7 もやいネット・いきいきサロン | 17 安全衛生防災 |
| 8 豪雨災害・夏祭り・不法投棄 | 18 採用・人事制度 |
| 9 終活セミナー | |
| 10 Happy勉強会 | |



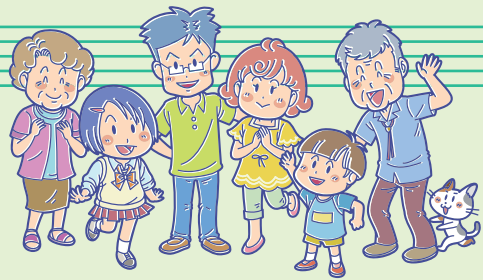
アンケートいただいた方



総数115通のアンケートをいただきました。内訳は左グラフに示すとおりです。ありがとうございました。

ステークホルダーの皆様のさまざまなご意見に耳を傾けさらに充実した誌面を作って行きたいと思います。

エコキャップ運動



中特グループでエコキャップ運動に取組みはじめました。中特ホールディングスの総務管理部の呼びかけで各拠点へ回収BOXを設置し、グループ全体及び出入りされる方にお声かけしています。

9月16日には『NPO法人 エコキャップ推進協会』へ最初の発送をしました。子どもたちの「キャップを捨てるのはもったいない」という声から始まったエコキャップ運動、医療支援の寄付などに少しでも貢献できるように頑張っています。



編集方針

中特グループのCSRの取組みと事業活動始め各種活動をステークホルダーの皆さまへわかりやすくご報告するよう編集しています。紙面の都合上掲載できなかったデータ等はホームページ等で開示していますのであわせてご覧ください。

作成にあたっては環境報告ガイドライン2012年版及びISO26000を参考にしました。

◆対象期間

2014年11月～2015年10月

◆対象範囲

株式会社中特ホールディングス
中国特殊株式会社
株式会社吉本興業
株式会社リライフ
株式会社藤井興業

◆発行時期

2015年11月

◆お問合せ先

株式会社中特ホールディングス CSR推進室
山口県周南市大字久米3078番地の1
URL <http://www.chutoku-g.co.jp/>
TEL 0834・26・0500
FAX 0834・25・28050

中特グループの組織・プロフィール・売上推移

(株)中特ホールディングス

未来創造室

企画広報室

ポータルハートサービス
事業推進室

総務管理部

CSR推進室

CS営業部

設立：平成24年4月
代表者：吉本英子、橋本ふくみ
資本金：3,000万円 従業員：13名
事業内容：中特グループ各社の経営企画・総務・営業・環境安全に関する業務、ダチョウ飼育による食品リサイクル事業

中国特殊(株)

エコ事業部

- ・eクリーニンググループ
- ・HOSグループ
- 管理チーム、清掃チーム

設立：昭和41年2月1日
代表者：吉本英子
資本金：2,000万円
売上高：4億39百万(平成27年7月期)
従業員：29名
事業内容：一般廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物処分業、
下水道維持管理業、建設業

(株)吉本興業

環境事業部

- ・サービスグループ
- サービスチーム
- ソーティングチーム
- ・ポータルハートサービスグループ

設立：昭和42年7月
代表者：吉本妙子
資本金：1,000万円
売上高：2億62百万(平成27年7月期)
従業員：25名
事業内容：一般廃棄物収集運搬業、
ポータルハートサービス事業

(株)リライフ

リサイクル事業部

- ・リサイクルグループ
- ・再資源化グループ
- ・未来開発グループ

設立：平成元年2月
代表者：橋本ふくみ
資本金：9,500万円
売上高：4億50百万(平成27年7月期)
従業員：20名
事業内容：産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物処分業、
リサイクル事業

(株)藤井興業

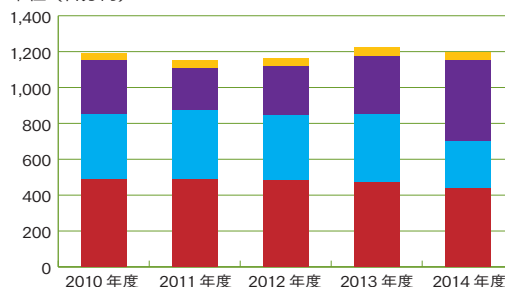
アメニティチーム(新南陽担当)

設立：平成5年4月
代表者：平岡仙吉
資本金：1,000万円
売上高：44百万(平成27年7月期)
従業員：4名
事業内容：一般廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物収集運搬業、
貯水槽清掃業

※平成27年10月1日より中国特殊代表取締役は吉本英子に、株式会社リライフ代表取締役は橋本ふくみに代わりました。
※平成26年8月より吉本興業の産廃業務はリライフへ移管しました。
※藤井興業は旧新南陽地区エリア担当

売上推移

単位(百万円)



中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078 番地の 1

TEL: 0834-26-0500 FAX: 0834-25-2856 <http://www.chutoku-g.co.jp/> Eメール info@chutoku-g.co.jp

中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856

株式会社リライフ

本社：〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1
TEL: 0834-33-8685 / FAX: 0834-25-2856
下松リサイクル工場：〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18番地の1
TEL: 0833-44-0007 / FAX: 0833-44-1007

株式会社吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044番地の2
TEL: 0834-25-0423 / FAX: 0834-25-2939

株式会社藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前 二丁目2番12号
TEL: 0834-63-1294 / FAX: 0834-25-2856



*Re*の種を育てて
*Green*な社会をつくる



中特グループ



ポータルハートデスク 0120-105-568